



発生動向等サーベイランス情報

インフルエンザにご注意ください

全国的に増加しており、県内の一部地域では流行入りしているため注意が必要です！

高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど重症化することがあります。



★感染経路：飛沫感染、接触感染

★感染対策：

○流行前のワクチン接種

発病を抑えたり、発病後の重症化を防ぐことに一定の効果があるとされています。

○手洗い、アルコール消毒 ○換気、適度な湿度の保持

○人混みや繁華街への外出を控える（外出時はマスク着用）

定点当たり報告数
トップ5 (R6.10.30現在)

1	手足口病
2	新型コロナウイルス感染症
3	マイコプラズマ肺炎
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
5	感染性胃腸炎



インフルエンザ

感染対策のポイント

シリーズ5：体調不良時に特に注意！



季節性インフルエンザの感染者は、発症の2日程度前からウイルスを排出します。周囲に排出するウイルス量が最も多くなるのは発症時および発症直後です。職場においては、このタイミングで周囲にうつすことが多いと考えられます。インフルエンザ流行時期には、「頭痛、寒気、筋肉痛、だるい」といったインフルエンザ発症時の症状（発熱する直前の症状）に注意し、これらを自覚したら施設利用者や他の職員との接触をなるべく避けるようにしましょう。その後に発熱しないか、十分な注意が必要です。

感染症専門家からのアドバイス



高齢者施設の利用者はインフルエンザ合併症発生リスクの高いグループのひとつであり、抗インフルエンザ薬による治療対象となります。抗インフルエンザ薬の効果は、発症早期であるほど期待できます。できれば発症48時間以内に投与することが望まれますので、早めの受診を心掛けて頂くと良いでしょう。